学校番号	３１０

令和８年度　公民科

教科	社会	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数研出版『高等学校　公共　これからの社会について考える』						
副教材等	第一学習社『新版クローズアップ公共 2026』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の諸課題に対する見方・考え方はさまざまである。この授業では、考え方が多面的であることを重視し、その中で自分で考え、対話を通じて合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことに重点を置いている。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
学習を通じて現代における諸課題に関心を持ち、社会的な課題や構造を理解するための前提となる知識を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるために必要な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるために必要な事柄に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集し、その情報を読み取ることができる。	・地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて、有用な情報を適切に選択し、多面的・多角的に考察し、表現している。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養おうとしている。 ・公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間	第１章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第１節　西洋近現代の思想 第２章　公共的な空間における基本原理 第１節　民主社会の基本原理 第２節　日本社会の基本原理	a: 自由と責任、対話、功利主義と義務論、意思決定方法、公正と公平、個人の尊重、民主主義などの公共的空間における基本原理について理解している。 b: 公共的な空間と人間の関わり 、個人の尊厳と自主・ 自律、人間と社会の多様性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは何かを多面的･多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養おうとしている。また、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
	法の制定と遵守	第３章　ルールをつくり守る私たち 第１節　法と契約 第２節　司法参加の意義	a: 憲法の原理、社会と法、多様な契約、消費者の権利と責任、日本の司法制度、 国民の司法参加などの法に関わるシステムについて理解している b: 法に関わるシステムの見方・考え方を働かせて、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 法に関わるシステムにおいて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追求しようとしている。また、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

2学期	政治参加	第４章　政治に参加する私たち 第１節　政治参加と民主政治の課題 第２節　国際政治の動向 第３節　国際政治の課題と日本の役割	a: 選挙と政治参加、公正な世論、地方自治、国家主権と領土、安全保障と防衛、21 世紀の世界情勢、国際社会と日本などの政治に関わるシステムについて理解している。 b: 政治に関わるシステムの見方・考え方を働かせて、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 c: 幸福、正義、公正などに着目して他者と協働して主題を追究したり、主体的に解決しようとする態度を養おうとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
	経済活動	第５章　経済活動を行う私たち 第 1 節　啓司の仕組みと産業の変化 第２節　市場経済の仕組みと金融 第３節　財政と社会保障	a: 職業選択、雇用と労働、労働者の権利、財政の役割、租税の仕組みと国債、少子化と社会保障、市場経済の役割と限界、金融のはたらき、 日本銀行と金融政策などの経済に関わるシステムについて理解している。 b: 経済に関するシステムの諸課題に関わる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 経済に関わるシステムにおいて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など
3学期	**持続可能な社会**	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	a: 持続可能な地域、国家、 国際社会を担う主体として理解している。 b: 持続可能な地域、国家、 国際社会を担う主体として、 社会のなかに社会課題を見出し、多角的・多面的に考察している。 c:課題探求の観点に立って主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度